

## 『あなたがたが世の光』 ヨハネの福音書9章1～12節 2017.12.10(聖日礼拝説教より)

『あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。』 マタイの福音書 5 章 16 節

❶この世の目と神の目(1～3 節)…イエスは生まれつきの盲人に目を留められ、弟子たちも見て質問『この生まれつきの盲目は、誰の罪のせい？この人？両親？』！イエスは、『この人のせいでも、両親のせいもない。神のわざが現れるため』と答えた！人の目には「惨めな人生」に見えても、神は憐れみ深い眼差しで、「神のわざが現れるための障害だ」と告げる！人の心に根深い偏見があり、当事者も絶望へ…これが深刻な闇。一人ひとりを特別に愛し、特別な計画をお持ちの神を知る以外に、正しく生き、どんな人とも偏見なしに向き合う方法はない！★まず、自分にある「心の闇」に気づき、悔い改めたい！

❷「わたしたち」とは誰？神のわざとは何？(4～5 節)…『私たちは、わたしを遣わした方のわざを、昼の間に行わなければなりません。だれも働くことのできない夜が来る(9:4)』。「私たち」とは、イエスを神と認めないユダヤ人に対し、イエスこそ天から来られた神！昔から預言されてきたメシヤだと信じる者たちのこと！イザヤ書 29:18、35:4～5『その日…目の見えない者の目が暗黒とやみから物を見る…。神は来て、あなたがたを救われる…。』。神が世に来て、人々が神を見て御声を聞く「その日・その時」が来る！その日神のわざが行なわれると！その『わざ』とは、何より「神が遣わした者を信じる信仰(6:29)」！今もイエスは、昇天後に世に遣わした「聖霊」を通して「私たち」と共に働かれる！その「わざ」は3つ！①闇の世を照らす(信じること)！過去に縛られ、罪や失敗を悔やむだけの人に光が照り、万事が益とされることを知り、前向きで明るくされる！(ローマ 8:35～37)。②新しい視力を再創造(変えられることⅡコリント 5:17)！「あの盲人」は、人々が見違えるほどに変えられた！③「夜が来る」と告げる！「今」信じなければ、永遠の運命が決定的になる「夜」が来る！その時あなたは「神などいない」と言って死ぬのか、キリストという希望の光を信じて死ぬのか？「わたしがこの世にいる間は、わたしが世の光」と言われたイエスの昇天後は、『私たちが世の光(マタイ 5:14)』で、『神は、神を愛する者たち(私たち)と共に働いて万事を益とされる(ローマ 8:28)』！

★今週、イエスを信じて心に迎え、あなたの心を照らしいただき、そしてイエスと共に働いて世を照らしたい。今週出会う人々を、イエスの慰めの光で照らしたい！